



交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第11号 平成26年(2014年) 3月1日発行



美東町大田の金麗社(大田・絵堂戦役諸隊本陣跡) 関連 P13 予算委員会報告

主な内容

○ 審議された議案等	2 ~ 3
○ 議案の内容	3 ~ 5
○ 一般質問	6 ~ 12
○ 委員会報告	13
○ 行政視察	14 ~ 15
○ 平成26年3月定例会の日程	16
○ 編集後記	16

発行 / 美祢市議会

編集 / 議会だより編集委員会

〒 759 - 2292 山口県美祢市大嶺町東分 326 - 1 TEL. (0837) 52 - 1117

平成25年第4回(12月)美祢市議会定例会 12月3日~12月19日

第4回美祢市議会定例会は12月3日(火)に開会し、市税条例など条例の一部改正について5件、消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例など条例の制定について2件、秋芳シルバーワークプラザの設置及び管理に関する条例の廃止について1件、一般会計補正予算(第6、7号)2件、国民健康保険事業など特別会計補正予算5件、山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について1件、美祢市へき地保育所ほか指定管理者の指定について6件、土地改良事業の施行

について1件、合わせて23議案が上程されました。

各議案については、それぞれ所管の常任委員会に付託され、集中審議が行われました。

12月19日の本会議において、議員提出決議案として、中国縦貫自動車道における事故多発区間の抜本的事故防止対策に関する要望決議案と総合支援学校の設置を求める要望決議案の2件が追加上程されました。その後、それぞれの議案に対する討論・採決が行われた結果、原案のとおり可決され、同日閉会しました。

平成26年第1回(1月)美祢市議会臨時会 1月15日

第1回美祢市議会臨時会は1月15(水)に開会し、議案として、一般会計補正予算1件が上程

されました。同日審議、討論、採決等が行われ、原案のとおり可決されました。

審議された議案等

12月市議会定例会(12月3日~12月19日)

議案第1号	平成25年度美祢市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第2号	平成25年度美祢市一般会計補正予算(第7号)	可決
議案第3号	平成25年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(賛成多数)
議案第4号	平成25年度美祢市観光事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第5号	平成25年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(賛成多数)
議案第6号	平成25年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決(賛成多数)
議案第7号	平成25年度美祢市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第8号	美祢市税条例の一部改正について	可決(賛成多数)
議案第9号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(賛成多数)
議案第10号	美祢市立小学校設置条例及び美祢市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議案第11号	美祢市田代コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の制定について	可決
議案第12号	美祢市高齢者保健福祉推進会議条例の一部改正について	可決

議案第13号	美祢市国民健康保険税条例の一部改正について	可決(賛成多数)
議案第14号	美祢市桂木山麓緑地自然公園村の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議案第15号	美祢市秋芳シルバーワークプラザの設置及び管理に関する条例の廃止について	可決
議案第16号	山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について	可決
議案第17号	美祢市へき地保育所の指定管理者の指定について	可決
議案第18号	美祢市児童クラブの指定管理者の指定について	可決
議案第19号	美祢市地域活動支援センターの指定管理者の指定について	可決
議案第20号	美祢市廃棄物処理施設の指定管理者の指定について	可決
議案第21号	美祢市秋芳八代ぬくもりの里交流センターの指定管理者の指定について	可決
議案第22号	美祢市勤労福祉会館及び美祢勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定について	可決(賛成多数)
議案第23号	土地改良事業の施行について	可決
議員提出決議案第2号	中国縦貫自動車道における事故多発区間の抜本的事故防止対策に関する要望決議について	可決
議員提出決議案第3号	総合支援学校の設置を求める要望決議について	可決

1月市議会臨時会(1月15日)

議案第1号	平成25年度美祢市一般会計補正予算(第8号)	可決
-------	------------------------	----

平成25年第4回(12月)美祢市議会定例会



○平成25年度美祢市一般会計補正予算(第6号)

日本ジオパークの認定に向けて、組織機構改革を行ったことに伴い、事務所等の関連施設を早急に整備するため、補正を行うものです。

○平成25年度美祢市一般会計補正予算(第7号)

職員の異動による人件費及び事業実施による予算調整などを行うものです。

○平成25年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

前年度の国・県補助金精算返還金や増加する医療費への対応などにより、補正を行うものです。

○平成25年度美祢市観光事業特別会計補正予算(第2号)

人事異動に伴う人件費の補正を行うものです。

○平成25年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

人事異動に伴う人件費の調整や介護サービス需要量の増加見込みなどから、補正を行うものです。

○平成25年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

後期高齢者医療広域連合会への納付金や保険料の過誤納還付金の補正を行うものです。

○平成25年度美祢市水道事業会計補正予算(第2号)

上水道区域拡張工事が次年度事業になったことにより、補正を行うものです。

条例の制定について

○消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

消費税率が8%になることに伴い、使用料等に係る条例について、所要の改正を行うための条例を制定するものです。

○美祢市田代コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の制定について

閉校となった旧田代小学校校舎を地域住民のコミュニティ活動と生涯学習の拠点施設とするため、条例を制定するものです。

条例の一部改正について

○美祢市税条例の一部改正について ○美祢市国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法の改正に伴う関係政省令の公布により、条例を一部改正するものです。

○美祢市立小学校設置条例及び美祢市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

平成26年3月31日をもって廃止される桃木小学校、下郷小学校及び本郷小学校の体育館及び運動場を、美祢市体育施設として活用するため、条例を一部改正するものです。

○美祢市高齢者保健福祉推進会議条例の一部改正について

推進会議組織の見直しを行うため、条例を一部改正するものです。同会議は、老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定や進行状況を協議するために設置されています。

○美祢市桂木山麓緑地自然公園村の設置及び管理に関する条例の一部改正について

施設利用者数の減少により、指定管理者によ

る管理から市の直接管理にするため、条例を一部改正するものです。

条例の廃止について

○美祢市秋芳シルバーワークプラザの設置及び管理に関する条例の廃止について

平成19年度から公益社団法人美祢市シルバー人材センターを指定管理者としていましたが、利用者が同法人の会員に限られ、公の施設としての機能が果たせていないため、平成26年3月末をもって本施設を廃止するものです。

以後は、使用貸借契約により同法人が施設運営を行います。

指定管理者の指定について

○美祢市へき地保育所の指定管理者の指定について

平成31年3月末までの5年間、「紫光会」を豊田前保育園の指定管理者として、再指定するものです。

○美祢市児童クラブの指定管理者の指定について

平成31年3月末までの5年間、「伊佐さくらっこクラブ」を伊佐児童クラブの指定管理者として、再指定するものです。



白糸の滝

○美祢市地域活動支援センターの指定管理者の指定について

平成30年3月末までの4年間、「社会福祉法人美祢市社会福祉協議会」を美祢市地域活動支援センター「あじさい」の指定管理者として、再指定するものです。

○美祢市廃棄物処理施設の指定管理者の指定について

平成27年3月末までの1年間、「有限会社美祢環境クリーン」を美祢市一般廃棄物最終処分場・美祢市リサイクルセンターの指定管理者として、再指定するものです。

○美祢市秋芳八代ぬくもりの里交流センターの指定管理者の指定について

平成31年3月末までの5年間、「八代ぬくもりの里」を指定管理者として、再指定するものです。



寒空に咲くロウバイ

○美祢市勤労福祉会館及び美祢勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定について

平成29年3月末までの3年間、「企業組合美祢市中高年雇用福祉事業団」を美祢市勤労福祉会館及び美祢勤労者総合福祉センターの指定管理者として、再指定するものです。

その他の議案

○山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について

当該事務組合の交通災害共済事務を共同処理

する団体に、県内の3市を新たに加えるため、規約の一部を変更するものです。

○土地改良事業の施工について

市営土地改良事業として平成26年度に着工を予定している西厚保町宿井堰^{やどいげき}の改修工事を施工するものです。

議員提出決議案について

○中国縦貫自動車道における事故多発区間の抜本的事故防止対策に関する要望決議について

中国縦貫自動車道の美祢インターチェンジから美祢西インターチェンジの間は、カーブと勾配区間が連続し、交通死亡事故が頻繁に発生しています。このため、当該区間における道路形状の改良など、抜本的対策を講ずることについて、要望するものです。

平成26年1月22日 国土交通省、
平成26年1月29日 西日本高速道路(株)へ要望書提出

○総合支援学校の設置を求める要望決議について

現在市内には総合支援学校がなく、総合支援学校への就学を要する障がいのある児童生徒は、遠方への通学を余儀なくされています。すべての児童生徒がそれぞれの状態に応じた教育を安心して受けられる環境整備のため、総合支援学校の市内設置について要望するものです。

平成25年12月24日 山口県教育委員会へ要望書提出

平成26年第1回(1月)美祢市議会臨時会

補正予算について

○平成25年度美祢市一般会計補正予算(第8号)

事業の決算見込みに対する調整や当面必要となる経費について、補正を行うものです。



(無所属)
なおの 猶野 ともかず 智和 議員

1

美祢市観光事業特別会計経営健全化計画達成後の地域活性化計画について

問 秋吉台科学博物館は、展示館、研究機関としてだけではなく、秋吉台がアメリカ軍の爆撃演習地となるところを住民の反対運動により阻止したという歴史の記念碑的建造物でもあり、人々のさまざまな想いがある建物です。

しかし、今後は秋吉台国定公園の名にふさわしい、そして世界ジオパークの拠点施設として、十分な役割を果たせる規模の博物館の新設が必要と考えます。

については、施設の内容や建設場所などを検討する際、関係者の想いにご配慮願いたいと思います。どのようにお考えかお尋ねします。

答 秋吉台地域における博物館の整備は、美祢市だけではなく山口県にとっても極めて重要であるので、今後、県のみならず国に対しても支援を要請することを考えています。

また、新しい博物館の方向性を検討するため、平成26年度中に整備に係る検討委員会を設置する必要があると考えています。

については、その中でいろいろな方々の意見を広く取り入れ、また、場所、規模、内容等についても広く議論していただき、方向性を定めて行きたいと考えています。

2

秋芳総合支所および周辺公共施設の更新について

問 老朽化が著しい秋芳総合支所と周辺施設（公民館・図書館・体育館・プール）を一箇所に集約し、管理を少人数で行うことができるコンパクトで効率の良い行政窓口施設へ更新すべ

きと考えますが、どのようにお考えかお尋ねします。

答 老朽化した公共施設の問題を解決するため、昨年10月に政策調整プロジェクトチームを設置し、市が保有している公共施設を一元的に管理する施設台帳の整備を進めています。

その台帳を基に、住民の利便性、リスク管理的視点、そしてご指摘のとおり、施設を集合させて人件費等の管理費を抑えるという経営的視点も含め、整備方針等を検討していきます。

3

市の対外的営業力の強化および営業部署の整備について

問 観光客誘致・特産品流通・企業誘致等を促進するため、営業にたけた人材の確保、それを支援する予算の確保、またそれらを実行する部署の整備、もしくは業務委託の検討が急務と考えますが、どのようにお考えかお尋ねします。

答 観光客誘致に向け、観光プロモーションの一元化を図るとともに、民間の視点で迅速かつ効果的に事業を推進するため、観光協会へ委託し、戦略的な広告宣伝を実施しています。そして、再来年のNHK大河ドラマが、幕末の長州を舞台としたものと決まりましたので、このチャンスを逃さないよう情報発信してまいります。

六次産業の推進については、加工品の開発、調査、販路開拓も含め、補助制度を創設しています。

企業誘致については、継続的に市長自らがトップセールスを行うとともに、幅広い情報収集・発信を行います。

職員等名刺を秋芳洞入洞料割引券に活用する取り組みは、職員一人ひとりが広報マン、営業マンである自覚醸成に役立っています。





(純政会)
いわもと あきなか
岩本 明央 議員

1

美祿市役所本庁舎、美東・秋芳総合支所庁舎の改築・移築等の今後の計画について

問 市役所本庁舎、美東・秋芳総合支所庁舎は、建設からかなりの年数が経過していますが、建物の安全性は確保されていますか。

答 市役所本庁舎は昭和34年、美東総合支所は昭和30年、秋芳総合支所は昭和32年に建設されたもので、建設後50年以上経過しており、経年劣化は否めない状況にあります。これまで、各庁舎とも屋根の防水工事、鉄筋の錆びた部分の補強、外壁等の補修など大規模改修を必要に応じて行い、現在は業務に支障のない状況で建物を維持していると考えています。

安全性については、総合的に判断して特段の支障はないものと考えていますが、不特定多数の市民が利用される施設として、安全の確保について、今まで以上の配慮が必要なことも認識しています。

問 市役所本庁舎、美東・秋芳総合支所庁舎及び美東地域の公共施設における耐震強度検査の実施状況と新耐震化基準への対応についてお尋ねします。

答 市役所本庁舎は、平成10年に検査を実施していますが、美東・秋芳総合支所は、過去に検査を行っていません。

耐震化基準設計が昭和56年から適用となっているため、昭和55年に建設された美東センターは、耐震化基準を満たしていないと考えられます。耐震強度については検査を行っていないので、はっきりお答えができない状況です。

また、美東保健福祉センターは、平成12年に建設されたので、検査の必要はありません。



美東総合支所庁舎

問 合併自治体への地方交付税特例措置も平成27年度から経過措置の段階に入り、交付税が減額されていきますが、3庁舎の改築等について、今後の方針をお伺いします。

答 1970年代の高度成長期に建築された施設が、老朽化による更新投資のピークを次々と迎えてきます。現在、市が普通財産として保有する施設を同規模で更新するためには、約800億円必要であるとの試算も出ています。

一方で、合併算定替えの効果がなくなり、交付税が大幅に減額されてくる中で、財源がない状況にあります。

今後、施設台帳の整備を行い、また、公共施設のあり方を検討するための諮問機関を設け、総合的に検討していきたいと考えています。

そして、公共だけではなく、民間の力を借りることも視野に入れながら、次世代の重い負担にならない施設更新計画を策定したいと考えています。



秋芳総合支所庁舎



(政和会)
徳並 伍郎 議員

1 日本ジオパーク認定を目指す課題と対策について

問 認定が見送りになった原因について、お伺いします。

答 日本ジオパーク委員会審査結果報告書によりますと、学術機関との連携、ジオパークを担う中核的な人材の育成、美祢ジオパークを地域内外へ発信するメッセージ性の工夫、また、秋吉台科学博物館などの拠点施設の老朽化や施設展示の時代遅れなどが指摘事項として示されています。

今後、これらの指摘について、速やかに協議、検討を進めていきたいと考えています。

問 埼玉県の秩父市は、地質を利用した地域振興ができていないという理由により、平成9年に認定見送りとなりましたが、その後2年間かけて準備し、平成11年に認定を受けています。

本市も同じような状況だと思いますが、今後の認定申請について、どのようにお考えですか。

答 秩父ジオパークは、認定見送りから再申請までの2年間に、さまざまな努力を重ねられたと伺っています。本市は急がず、認定見送りの原因をきちんと整理した上で、再申請したいと考えています。

問 ジオパーク認定に関して、山口県のサポートは効果的になされたのでしょうか。

答 これまでも、県からは美祢市ジオパーク推進協議会に構成員として参画をいただいています。今回の認定見送りを受けて、県地域政策課を事務局とし、関係部局で構成される山口県美祢ジオパーク支援会議が県庁内に

設置されることが決まりました。従いまして、全面的なバックアップ体制が整うこととなります。

問 認定を目指すには産官学民の取り組みが重要だと思えますが、どのようにお考えですか。

答 ジオパーク活動は非常に多岐にわたるもの、また根が広く深いものというふうに思っています。庁内の組織体制を整備し、さまざまな課題に対応するとともに、産官学民が一体となった取り組みを構築し、強力に推進していきたいと考えています。

問 市内各所にジオパークに関する大型看板の設置をしてはいかがかお伺いします。

答 何かインパクトのあるものを設置、または展示することは、人の注目を引き、また人を集客する力がありますので、検討させていただきます。

2 有害鳥獣対策について

問 有害鳥獣捕獲に係る制度変更についてお伺いします。

答 国の大型補正により、鳥獣被害緊急捕獲対策事業が新たに創設されました。これは、市が行っている有害鳥獣捕獲奨励金に上乗せして支給する制度です。また、猟友会との協議の結果、今年度より奨励金申請時に捕獲個体と捕獲者が一緒に写った写真を提出していただくことになりました。

問 秋吉台の今後のシカ対応についてお伺いします。

答 現時点では具体的な対策は講じていませんが、まず、シカ特有の痕跡を見つけ出すことを行い、具体的な対応策を県の自然保護課の協力を仰ぎ、また秋吉台科学博物館と有害鳥獣対策室で検討してまいりたいと考えています。



(新政会)
あらやま みつひろ
荒山 光広 議員

1 平成26年度予算編成方針について

①予算の組み立て方について

問 平成24年度決算監査意見書では、部局別包括的予算制度の円滑な実施について記述がありますが、この制度の導入によって、どのような予算の組み立て方になるのかお尋ねします。

答 本市では以下の3点を来年度予算編成方針として掲げています。

1点目は、平成26年度が第一次総合計画の5年次目にあたることから、前期計画の総括として捉え、また、後期計画への機能的な継続を図るため、行政評価との整合性を高めることにより、基本理念の実現に向けた取り組みを効率的かつ効果的に実施すること。

2点目は、将来に負の財産を残さないために、身の丈にあった市民サービス基盤の確立と維持に努めること。

3点目は、これまでの積み上げ方式に変えて、それぞれの部署別に予算枠を配分する部局別包括的予算編成システムを採用し、その中で事業の妥当性、有効性、費用対効果を徹底的に検証し、スクラップアンドビルドを強力に推進すること。

これらにより、財政状況や事業コストに対する意識の高揚、また、最小の経費で最大の効果を上げることを期待しています。

②補助金・委託料の方針について

問 補助金や委託料は、市内の各団体やいろいろな事業等に直結するものだと思いますが、この予算についても、各部局内で精査の対照とされるのか、方針についてお伺いします。

答 補助金・負担金や委託料については、事業評価の検証を前提とした上で、行政として対応すべく必要性、費用対効果、経費負担のあり方等の面から徹底的に見直しを行い、新たな政策への転換、廃止、統合等整理合理化するよう指示しています。

③消費税の対応について

問 消費税が来年の4月から8%へ引き上げられますが、予算全般、また、指定管理料に対する消費税の対応についてお伺いします。

答 平成26年4月以降、消費税及び地方消費税の税率が8%になりますので、平成26年度以降の指定管理料は、指定期間中といえども、新たな税率により算定した委託料を支払うこととなります。従って、年度協定によりその旨協定を締結することとなります。

また、予算策定にあたり、国から税負担の円滑かつ適正な転嫁を基本として対処するよう要請がありました。その転嫁分、または消費税率引き上げに伴うコスト増分を適正に反映させるよう指示しています。

市が使うお金は、市民や国民の方々の貴重な税金であり、これを社会に還元して行くものですから、大きな覚悟と責任を持って予算を組んで行きたいと思っています。



美祿市予算書(平成25年度)



(公明党)
おかやま たかし
岡山 隆 議員

1 新地方公会計制度の導入における美祢市財政の「見える化」に関して

問 市の一般会計は、資産や負債の変動があった時に記録する発生主義ではなく、資金の収入・支出があった時に記録する現金主義で行っています。本市における道路・公共施設の再配置が求められる中、現行の一般会計における現金主義会計で、財政の「見える化」が出来るのでしょうか、お尋ねします。

答 国・地方自治体の財政は、現金主義で運営されています。現金主義は、公金の使途・収支を明確にすることを目的とし、予算が適正に執行されているかを判断するには、非常に優れた会計ですが、資産・負債等がわからず、財政の全体像が見えないため、将来計算・行政コストが捉えられないなどの問題点が指摘されています。

それを補足するため、平成20年度分から総務省方式改定モデルに基づき、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書及び資金収支計算書の財務書類4表を作成し、全体像の把握に努めています。

問 地方公会計制度導入のためには、自治体の資産を管理する固定資産台帳の作成や複式簿記の導入などが重要になってきます。そこで、各行政部署における保有資産の固定資産台帳の作成と市職員の複式簿記導入への講習会参加等、本市における地方公会計推進に関して、どのようなお考えをお持ちですか。

答 公共施設の再配置計画の基本となる固定資産台帳の整備状況については、現在、前段階として、固定資産台帳へ反映できる公有

財産台帳を整備しています。建物はほぼ整備済みですが、市有地等については、関係部局と協議調整をしています。

新地方公会計の推進については、総務省において立ち上げられた研究会の中間取りまとめによると、固定資産台帳の整備や複式簿記導入の必要性について、大きな方向性が示されています。今後の動向を注視して対応したいと考えます。

2 美祢市選挙管理委員会における事務改革の推進に関して

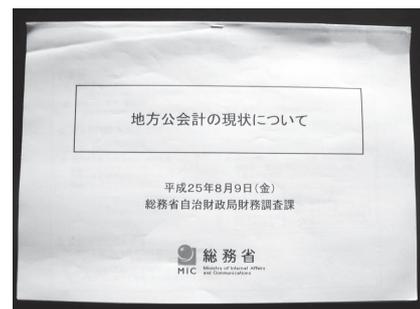
問 2010年7月の参議院選から、選挙3事務(啓発・投票・開票)の無駄追放にて、選挙事務を見直す自治体が増加しています。下関市では、人件費負担の大きい当日投票・開票事務の人員削減に関し、時間外勤務手当の単価が低い職員を中心に再編し、人件費を716万円削減しています。

また、入場券ハガキを利用して、期日前投票における宣誓書等の記述簡素化を行っている自治体もあります。これら選挙事務における無駄削除の取り組みについて、本市の状況をお伺いします。

答 選挙事務にかかる人件費については、若手職員を登用し、効率のよい最小限の人員配置を心がけ、抑制に努めています。

入場券に期日前投票の宣誓書を印刷することについては、記載スペースなどの問題もありますので、導入について慎重に検討しています。

過去の選挙事務の経験を検証し、これまでのやり方を踏襲するのではなく、他市で功を奏したモデルを取り入れ、目標を定めて取り組んでいきたいと考えています。



地方公会計の導入



(政和会)
たけ おか まさはる
竹岡 昌治 議員

1 観光立市五ヶ年の検証について

問 近年の交流人口の動向についてお伺いします。

答 山口県観光客動態調査によりますと、近年の本市交流人口は140万人前後で推移しています。

問 第二次観光振興計画の策定準備を進められているか、お伺いします。

答 現在、次期総合観光振興計画の策定に向け、本年度中に美祢市産業振興推進審議会に諮問を行うよう準備を進めているところです。

問 総合観光振興計画の大きな柱である「美祢市の観光振興を支える人と組織を輝かせる」ことについて、どのように対応されたのか、お伺いします。

答 観光振興の基本はおもてなしと考え、本年6月議会におもてなしのまち美祢観光振興条例を提案し、7月より施行されています。これを受けて、美祢市観光協会におもてなし力向上推進事業を委託し、現在、観光旅行者、観光事業者などへのアンケート調査を実施し、分析を行っています。

また、観光振興の中心的機関である美祢市観光協会を社団法人化し、組織力強化を図ってきたところです。

問 コスト削減のみを行うと、一時的に状態が上向いても、業績がだんだんと落ち込んでしまうと思いますが、どのようにお考えですか。

答 これまで健全化計画に従い、できる限りのコスト削減を行ってきましたが、世界ジオパークを目指すこともあり、今後は必要な中長期の投資を行っていくという立場で、次の総合観光振興計画を立ち上げていきたいと考えています。

問 インタープリター（※）制度の充実について、お考えをお伺いします。

（※）インタープリター：観光地などで自然と人とを繋ぐ専門家。通訳者、解説者など。

答 近年のインタープリテーションは、一方的な情報の押し付けではなく、双方向性のコミュニケーションが重要視されています。

本市でも、観光アテンダントやボランティアなど多くの方が活躍されています。本市に来られた方に満足して帰っていただくことが大事ですので、観光協会に委託しているおもてなし能力向上事業での研修会を通じて、スキルアップに繋げていきたいと考えています。

2 県育成牧場廃止に伴う問題点について

問 県よりの計画説明はあったのか、お伺いします。

答 県農林水産部より、施設の老朽化や現場職員の退職などの状況の変化に伴い、育成業務を平成27年3月までに畜産技術部本場（伊佐町河原）に集約し、預託体制を見直すとともに、民間預託に伴う輸送費補助等、引き続き酪農振興対策をしていくという旨の報告を受けています。

問 市として今後の対応はどうされるのか、お伺いします。

答 今後の用地活用について、秋吉台上というメリットを生かした観光、教育分野による活用を視野に入れて、県と協議を進めていきます。

また、用地の契約解除、管理、山焼きの対応などの協議もしていくこととなります。



(日本共産党)
みよし むつこ 議員

1 若者の世代の応援で人口定住促進を

①保育料について

問 保育料は、児童の入所年齢や保護者等の所得税の額によって決定しますが、豊田前保育園においては、園児の年齢や保護者の収入に関係なく保育料の額が一律11,000円とされており、市の軽減措置制度は適用されません。

運営方法が市直営であるか、指定管理者制度であるかを問わず、同じ保育料に統一すべきではありませんか。

答 豊田前保育園においては、一律11,000円の保育料とは別に、3歳未満児は5,000円、3歳児以上は4,500円の給食代を支払っていただいています。

同保育園については、独自の事情で均一保育料とした経緯もありますので、地元の関係者等と協議していきたくと考えています。

②保育料を引き下げ、子育て世代を応援し若者定住政策を

問 本市と長門市の保育料を階層ごとに比較すると、長門市の方がかなり安くなっています。

子育て世代を応援するため、保育料の全体的な見直しを行って、若者の定住を促進すべきではないでしょうか。

答 保育料は基本的に国の基準に従って定めており、引き下げについては現在のところ考えていません。

③入所年齢について

問 市内全ての保育所において、0歳児の入所を可能とし、居住地域に関係なく、産休

明けから安心して子どもを預けられる保育環境を整える必要があると考えますが、いかがでしょうか。

答 制度上、へき地保育所では0歳児は預けられないことになっています。また、現状の施設や人員等の面から、市内全ての保育所で0歳児の保育を行うことは困難です。将来的には、みなさまの希望に添えるよう、段階的に体制を整えていきたいと考えています。

2 美東・秋芳簡易水道事業について

問 美東・秋芳簡易水道の硬度低減化の進捗状況はいかがでしょうか。

答 硬度低減化装置の設置に関わる事業変更認可書類作成業務及び申請業務について、平成25年6月に業者発注し、事業を進めていました。

一方で、秋芳地区から秋芳北部地域の水源を利用したブレンド方式による軟水化を求める要望書が提出されたことを受け、水源探査業務を10月に発注し、候補地選定を進めています。

また、美東地区では、渇水対策を主目的とした水源調査を行っており、それぞれ水量調査や水質検査を今後行う予定です。

これらの調査により、水源確保に見通しが立てば、費用対効果などを比較検討して、軟水化の方法を決定する予定です。



保育園で遊ぶ園児

委員会報告

教育民生建設観光委員会報告

問 介護保険事業特別会計の保険給付費が大きく増加していますが、なぜですか。

答 特養、地域密着型サービス等をはじめとして、保険給付が当初計画より上回ったため、大幅な補正になりました。居宅介護、介護予防を進めていますが、なかなか実績が上がらない状況です。

問 当初設定した美祢市廃棄物処理施設の埋め立て期間はあと一年ですが、延長される予定でしょうか。

答 現在施設の残容量が約50%ありますので、関係者と協議を行い、15年を目標に延長を考えています。

総務企業委員会

問 消費税が平成26年4月から8%になりますが、使用料や手数料の改定はどうなりますか。

答 於福地区の平成24年に策定した使用料・手数料の見直しに関する基本方針に基づき、見直しは4年ごとになります。消費増税に伴う改定については、経費等の積算に基づいて次回の見直し時に行うこととなります。

問 於福地区の水道拡張工事が来年度になったのはなぜですか。

答 拡張工事は踏切を3箇所横断するため、JRと協議を進めてきましたが、今年度は出来ないとの回答があったためです。平成26年度早期の着工について、JR広島支社にお願いしています。

問 学校給食に異物の混入があったと聞いていますが、原因、経過、改善策等はどうなっていますか。

答 異物混入のあったパンの製造業者へ原因、経過、改善策等について、報告を求めるとともに、当面は米飯給食に変更することとしています。

今後も、情報の速やかな提供、適切な対応に努め、学校給食を提供していきます。

予算委員会報告

問 機構改革により、世界ジオパーク推進課が秋吉台科学博物館内に設置されますが、それに伴う施設改修はどのような内容ですか。

答 博物館に4名の職員が常駐するため、事務室や資料収集倉庫の改修等を行います。

問 児童福祉費の電算システム導入委託料の補正は、新たな児童手当に関連するものですか。

答 今回のシステム改修は、平成27年4月からの子ども子育て支援の新制度導入に伴うものです。

問 再来年のNHK大河ドラマが吉田松陰の妹を主人公とする「花燃ゆ」となりました。明治維新の原点となった「大田・絵堂の戦い」から来年は150年になりますが、大河ドラマの中で取り上げてもらうことをお考えですか。

答 絶好の機会ととらえ、大田絵堂戦役の意義と価値を広く情報発信するとともに、記念事業、ドラマ等のロケ地の誘致や観光宣伝活動など積極的に進めてまいりたいと考えています。

行政視察レポート

総務企業委員会

島根あさひ社会復帰促進センターは、PFI方式による刑務所で、犯罪傾向の進んでいない男子受刑者（身体、精神、知的障がい者を含む）1,500人を収容する施設です。

同センターの基本方針として「官民協働の運営」、「地域との共生」及び「人材の育成」の三つが掲げられ、平成25年11月現在、国家公務員約190名、民間職員約390名により運営されています。

地域との連携に関する具体的な例として、受刑者矯正プログラムへの地元住民の参画などが挙げられ、受刑者の心のケアや適正な社会復帰を促すため、住民が文通プログラムなどにより密接に受刑者と関わり、大きな成果を上げていました。

また、地域との共生に関しては、施設に勤務する民間職員の地元雇用率が約95%、さらに、地元事業者の大きな努力により、収容関連物資（主に食材・日用品等）の地元調達率が100%となるなど、地域経済に同センターが深く関わっています。

本市においても、矯正施設と もっと前向きに関わっていけるよう検討を重ねる必要があると感じました。

出雲市は、平成17年の2市4町の市町合併に先立ち、平成16年に2市1町の上水道事業を統合一本化し、平成19年に旧1市2町でかなりの格差があった水道料金について、地元住民の理解を得たうえ、統一しています。

- ◆日 程：平成25年11月5日（火）～6日（水）
- ◆場 所：島根県浜田市（島根あさひ社会復帰促進センター）/出雲市
- ◆目 的：地域連携事業の現状と課題、および地域経済等への寄与について/水道料金の統一、および安全安心な水源確保について

また、現在、残りの旧3町の簡易水道事業についても、平成28年度までに段階的な上水道事業との統合を図ることを目的に、事業計画を策定しています。

以前は一部水源の水質問題について大変苦慮され、その対策費として巨額を投じたとのことでした。

本市の水道事業においては、硬度軽減化の問題や、安全安心な水源確保も含めて課題が山積しています。水道料金の早期統一については、これら諸課題を同時にクリアすることが必要であり、課題解決に向けた取り組みのさらなる強化を図ることが急務であると感じました。



教育民生建設観光委員会

大分県豊後高田市は、商店街衰退の対策として、商店主、商工会議所とともに統一見解を持ちまちづくりに取り組み、「昭和」をテーマにした「昭和の町」をつくりました。現在、平成17年に第三セクターで設立された豊後高田観光まちづくり（株）が

- ◆日 程：平成25年11月13日（水）～15日（金）
- ◆場 所：大分県豊後高田市/熊本県菊池市/佐賀県武雄市
- ◆目 的：観光事業、まちづくりの取り組みについて/六次産業の取り組みについて

運営しています。

観光客に懐かしさを提供する約束事を決め、それを守る店舗を「昭和の店」として商工会議所が認

定し、現在38店舗が参加しています。拠点施設として、レストラン等を併設した昭和ロマン蔵があり、多くの観光客を集客しています。

観光客を拠点施設から商店街へ流すシステムができていて、商工会議所、商店主、まちづくり会社が、それぞれ役割を分担するまちづくりは、地域の一体感がありました。

熊本県菊池市にある渡辺商店は小さな酒屋ですが、無農薬の米等をはじめとして農業にも取り組み、企業と提携したごぼう茶等加工品の開発、インターネット販売などを行い、関東を中心に多くの顧客を確保しています。

商品に、生産者の情報、栽培方法等を詳しく記載し、食の安全をPRすることで、消費者の信頼を得ています。

安全ないいものをこだわりを持ってつくり、付加価値をつけ、消費者へPRすれば、農業のみならず地域発展へとつなげることができる顕著な例でした。

佐賀県武雄市では、レモングラスを特産品として、農業の再生、雇用の創出等に取り組み、レモン

グラスの生産・加工、またいのしし肉(有害鳥獣駆除)の加工・販売を行っています。企業等と連携し商品開発を行ったり、首都圏でイベントを企画し、多くの顧客を獲得しています。

事業の取り組みは市主導ですが、現在レモングラス、しし肉の加工・販売はそれぞれの農事組合法人等が運営しており、自主性、独立性があります。特に、しし肉の加工、販売については参考にすべき点がありました。

今回の視察は、個々が役割を分担しながら協力し、力を発揮することによって、地域でお金やものが循環するようになるという、大変参考になる事例でした。



本市の行政視察受け入れ実績

市議会では、本市の政策や事業の取り組み状況について、他の議会(常任委員会、会派等)からの行政視察を受け入れています。視察受け入れ時には、担当部署がそれぞれの事業等について説明を行います。受け入れ実績は、次の表のとおりです。

平成24年度

No.	視察日時	視察議会名	人数	視察内容
1	H24. 5.16 (水)	静岡県富士市議会 会派「光輝会公明」 他	8	美祢市の地域医療を支え育てる条例
2	H24. 5.24 (木)	茨城県神栖市議会 教育福祉委員会	11	美祢市の地域医療を支え育てる条例
3	H24. 5.30 (水)	山口県議会 地域商工委員会	11	J R美祢線利用促進協議会
4	H24. 6. 1 (金)	山陽小野田市議会 産業建設常任委員会	9	デマンド交通
5	H24. 7.18 (水)	福島県田村市議会 会派「政友会」	5	農林業の振興策 他
6	H24. 7.20 (金)	宮崎県えびの市議会 議会運営委員会	8	議会運営全般及び議会基本条例関係
7	H24. 7.30 (月)	兵庫県川西市議会 会派「民生会」 他	4	美祢社会復帰促進センター
8	H24. 8. 8 (水)	新潟県燕市議会 会派「大河の会」	3	美祢市ハッピーウェディング支援事業
9	H24. 8.20 (月)	長崎県雲仙市議会 議会運営委員会	9	定例会の運営 他
10	H24.10.22 (月)	茨城県笠間市議会 文教厚生委員会	7	美祢市の地域医療を支え育てる条例
11	H24.10.24 (水)	福島県会津若松市議会 会派「市民クラブ」	6	美祢市学校事務共同実施
12	H24.11.12 (月)	長崎県西海市議会 総務文教常任委員会	7	地域公共交通対策
13	H24.11.14 (水)	山形県上山市議会 会派「たかまき」	4	空き家等情報バンク制度 他
14	H25. 2.12 (火)	熊本県合志市議会 議会運営委員会	10	会派制 他
15	H25. 2.19 (火)	奈良県大和郡山市議会 会派「新政会」	2	美祢市の地域医療を支え育てる条例
計		15件	104人	

平成25年度(12月末現在)

No.	視察日時	視察議会名	人数	視察内容
1	H25. 7.11 (木)	秋田県雄勝郡羽後町議会・教育民生常任委員会	5	高齢化対策の実践と課題 他
2	H25. 7.25 (木)	岐阜県美濃加茂市議会 文教民生常任委員会	9	生活交通の確保
3	H25.10.29 (火)	千葉県館山市議会 建設経済委員会	6	観光振興条例に関する調査
4	H25.11. 7 (木)	長門市議会 議会運営委員会	6	予算・決算委員会の運営
5	H25.11.13 (水)	浅麓水道企業団(長野県)	19	水道事業の概要 他
6	H25.11.19 (火)	青森県十和田市 会派「高志会」	7	美祢社会復帰促進センター
計		6件	52人	



平成26年第1回(3月)定例会は、右表のように予定しています。

市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

正式な日程は、2月25日(火)に開催予定の議会運営委員会で決定します。

日程	時間	内容(予定)
3月 4日(火)	10:00	本会議(初日)
3月 10日(月)	9:30	予算委員会
3月 11日(火)	9:30	予算委員会
3月 12日(水)	9:30	予算委員会(予備日)
3月 13日(木)	9:30	教育民生建設観光委員会
3月 14日(金)	9:30	総務企業委員会
3月 17日(月)	10:00	本会議(一般質問)
3月 18日(火)	10:00	本会議(一般質問)
3月 25日(火)	10:00	本会議(最終日)

編集後記

2014年も、あっという間に2ヶ月が過ぎました。今年初めての議会だよりをお届けします。

この議会だよりが、みなさんのお手元に届く頃には、ソチオリンピックも終了していると思いますが、各国の代表として力を出し尽くす選手の姿は、感動とともにみなさんの心に深く刻み込まれたのではないのでしょうか。

議会だより編集委員会も、この一年、全力投球でみなさんに親しまれる紙面づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。(三好)

議会だより編集委員会

委員長	秋枝 秀稔
副委員長	三好 睦子
委員	萬代 泰生
委員	岡山 隆
委員	馬屋原真一
委員	俵 薫



美祢市議会事務局

〒759-2292 美祢市大嶺町東分326-1

TEL.0837-52-1117 FAX.0837-52-1180

美祢市ホームページ <http://www2.city.mine.lg.jp/>